

# 諸富町まちづくり協議会だより

10月  
2020

まちづくり協議会は平成24年5月に発足し、今年度で8年となります。

**基本理念「笑顔あふれみんなが輝くまち 諸富」**

## コロナ禍の中、超大型台風10号が直撃か…

町内に設置された避難所では

★諸富文化体育館（ハートフル） 145世帯 357人

★諸富町公民館 133世帯 254人

の方々が避難され、会場はいっぱい!! いろんな課題を残しました。

諸富町公民館



諸富文化体育館  
(ハートフル)



9月6日



### 私が避難行動要支援者の方の避難に 同行して感じたこと

受付体制の重要性?を感じた。

受付の段階で避難者の状態により避難スペースを区分けする必要があり、何らかの形で地域の方の協力を求めなくては対応は難しいと思った。健常者も多く、受付時にお手伝い可能な方を募り役割分担できるようにシステムを作っておくことも必要かと思った。また今回、地区の方が自力で避難所へ行くとのことだったので確認したかったけれど、受付では避難者の把握はできていないとのことと各部屋を見て回った。

今回過去にない避難者数であったことで大小様々な課題が見つかったのではないかと?今後に向けた皆さんのディスカッションの場が必要だと痛感した。

### 私が避難者として体験して 感じたこと

29年前の猛烈な台風が頭をよぎり、今回初めて避難所で一夜を過ごした。

まず、避難所で心強く感じたことは、市職員が当日常駐されお世話されたこと。また、知り合いも多く見かけ、台風に対する恐怖心がやわらいだ。避難所の利用は、状況判断を早く行うことが早い準備につながり、リスク軽減にもなると思った。

当初の予報に反し、幸いにも被害がなかったが、今回の体験を活かし、今後の災害への備えに役立てていきたい。

## ● 大型台風に対し、あなたはどんな行動を？(数人の方にお聞きしました)

経験したことがない程の台風襲来と聞き、住民は不安がつり、色々な行動を起こしました。そして風水害に対する備えができ大事に至らずに済みました。今後の学びとなったのではないのでしょうか！



1

避難所にはいきませんでした。高齢者がいるのでトイレが心配で、水、ガスコンロ、懐中電灯を備え、家の中にいました。

2

一人暮らしです。大勢の中に行くと緊張するので、水害時は2階で過ごすようにしています。今回は自宅1階で…。避難所まで遠く、移動手段もないので、動かないほうが安全と考えました。

3

以前の台風経験が不安度を高め、夫は行かないといいましたが、私一人、避難所へ行きました。安心して過ごせました。

4

地区の公民館へ避難しました。自治会の公民館なので、皆さん顔見知りで、和気あいあいと安心して過ごせました。自治会長さんに感謝です。体調に不安があるので良かった。

5

娘のところに避難しました。福岡のマンションなので風の音も聞こえず不安感は何も!! 但し、帰りの電車がストップしていてもう一晩お世話になりました。



## ● 行政と自主防災活動に関する意見交換会を実施

10月12日(月)午前10時より諸富町自主防災活動本部役員は、内田支所長、佐賀市消防防災課大木係長を迎え防災活動に関する意見交換会を開催した。

大木係長より、自主防災の役割は、まず日頃の防災・減災に関する啓蒙活動及び大規模災害により避難所設置が長期化した場合には避難所内のルールを決める避難所運営委員会の中心となってほしいとの基本方針が説明された。

先の台風10号来襲時の避難所での対応についても様々な意見がでたが、従来程度のものであれば、行政で十分対応できるが、今回は避難者数が通常の20倍にも及んだこと、新型コロナウイルス感染症による様々な制約があり、一部混乱も生じていた。また、避難所自体の安全性も避難住民に安心を与えるものではなかったことや高齢者への配慮が欠けたなどの問題点が提示された。

今回の台風への対処には、避難所に自主防災関係者1名を配置し、避難所の現況について自主防災組織と情報共有している校区があり校区自主防災の台風の際の避難所への対応のモデルとすべきであろう。



### <心温まるエピソード>

感謝!!  
避難所で看護師の方がボランティアを申し出られ、トイレの清掃、消毒など行われていたとのこと。

### <防災ミニ知識>

2000年以降に建てられた木造建築は台風に対し町内避難所より安全性が勝るかもとの事…



## ●高齢者が地域で安心安全に暮らしていくために

諸富町まちづくり協議会は町内で誰もが安心して暮らすことができる“福祉のまちづくり”を目指して、平成28年度に諸富町あんしんネットワーク会を設立し、高齢者世帯（日中一人暮らしの高齢者も含む）や障がいのある人などに対し、「地域の力」で見守りや簡単な手助けをすることで地域の絆を深め、孤立化をなくすことを目的に活動してきました。

令和2年3月の移動支援に係るアンケート調査の結果、見守り活動だけではなく、買い物・通院などの移動支援など高齢者のニーズに対する支援が必要であることがわかりました。そこで「諸富町高齢者等移動支援検討会」を立ち上げ、移動支援をスムーズに実施するため、アンケートを地域の自治会長を通してお願いしました。

自治会長のみなさんには再度にわたりお骨折りをいただいたことを深く感謝いたします。

## ●高齢者買い物の移動支援実施に関するアンケート結果

諸富町75歳以上の方 南地区845名 北地区998名 を対象に実施

回収率は 80.5% ご協力ありがとうございました。



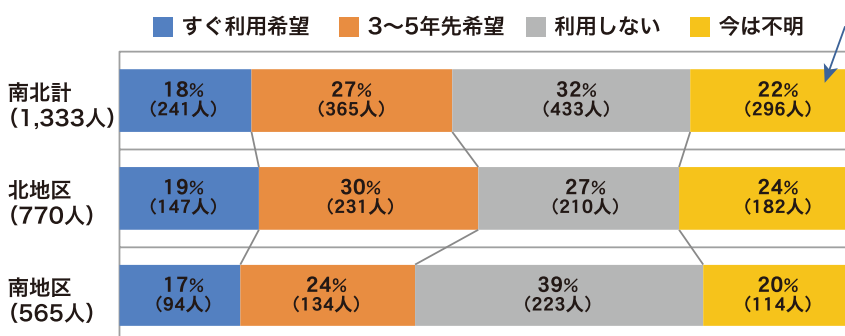
### 集計結果の概要

- ① 買い物は主に自分でやっている（41%） 夫か妻（21%） 家族（32%）
- ② 買い物に行く曜日は7日間でのどの曜日も差がなく、午前中が過半数だった
- ③ 週に2～3回が40%で 週1回は20% 週4～5回が12%だった
- ④ 移動手段は自家用車が半数を占めていたが 商店が近い地区は自転車13%、徒歩も6%と地区によって差があることが示された 家族の車に同乗するという人も20%程度であった
- ⑤ 買い物先は諸富近郊2キロ以内がほとんどで 近いところが多かった



## 移動支援があれば…？

### 買い物支援利用希望比率



今は不明とは

- \* 免許返上後どうなるか？
- \* 身体が不自由なので？
- \* 高齢者は先がわからないのでなんとも回答できないという方々でした。

その他の意見では

- \* 通院移動支援
- \* 移動販売
- \* 巡回バス  
などの希望が…
- ☆ 買い物移動支援実施が楽しみ！
- ☆ 買い物に行く楽しみがあるなどの声も聞くことができました。

- ① 今は不明の方も合計すると70%近くの方が利用を希望
- ② 北地区が将来に向けての数値が高い。数年後の不安が見えてくる
- ③ 費用については片道100～300円が半数を占めており、有料なら利用しないも20%あった
- ④ 利用頻度は週2～3回と週1回とが多く、ともにあまり変わらなかった
- ⑤ 今後の活動には年齢別による集計が必要と思われる

★なるべく早い実施に向けて活動を進めたいと考えています！

## ●子育て部会<学校へ寄贈>



R2.6.10(水)諸富中学校



R2.7.27(月)諸富南小学校



R2.7.27(月)諸富北小学校

\*毎年諸富町内小中学校へまちづくり協議会より子どもたちの安全のためタスキなどを寄贈してきました。今年には小学校にはPTAの希望でビブスを贈りました。地域行事や学校行事で大いに利用してもらいたいと思います。中学校は通学時の蛍光タスキを贈り、子どもたちの安全を願いました。

## ●夏休み地域行事の紹介

\*コロナ禍により夏休みのラジオ体操を自粛した地区は多かったのでは？  
浮盃地区と小杭地区は老人クラブと共に朝のラジオ体操が続けられました。



浮盃地区



小杭地区

## ●コロナ禍の中、少しずつ活動が始まりました

### ●10月8日(木)レク研修会~コロナウイルスに負けないように生き生きと~

\*諸富町ボランティア推進協議会ではレクレーション研修会を開きました。サロンやイベントで参考にしてもらいたいと…参加者は盛り上がりました。風船遊び・牛乳パック積み上げ遊びなどいろいろと…



### ●老人クラブも始動

\*11月16日(月) 諸富町グランドゴルフ大会  
地域から推薦された会員が一同に集まり競い合います。

\*令和3年2月26日(金) おばあちゃんの発表会(予定)  
今年はやるぞー!!準備を進めていきます。皆さんご協力をお願いします。

### 「つながるさがし」

▶ <https://www.tsunasaga.jp/>



### 「つながる諸富」

▶ <https://www.tsunasaga.jp/morodomi/>



「つながるさがし」は、佐賀市が市民と共に創っていく市民参加型・協働型の地域情報サイト。皆さんも回覧板を見るような感覚で、サイトにアクセスしてみてください。「つながる諸富」は諸富町の情報です!!

### 広報担当仲間募集!

私たちは仲間を募集しています。皆の力でよりよいまちづくりにしていきたいと考えます。「つながる諸富」のHPや情報誌作成に協力をいただきたいです。尚、ご意見ご要望もお願いします。  
まちづくり協議会メールアドレス  
[machidukurim@yahoo.co.jp](mailto:machidukurim@yahoo.co.jp)